

新春を迎えて



愛知県議会議長 青山秋男

あけましておめでとうございます。

県民の皆様方には、健やかに初春をお迎えのことと存じます。

清々しい新春の朝を迎え、新たな時代の息吹を感じながら、世界中の平和と繁栄を心から願い、夢とうるおいにあふれた活力ある愛知を築いてまいりたいと決意を新たにしたいところであります。

昨年は、日本国内でも大きな地震が続発したほか、食の安心安全を揺るがす事件も発生したりしましたが、秋には、地元中日ドラゴンズの、日本一、さらにはアジアチャンピオンに輝く目覚ましい活躍など、明るく希望の膨らむ話題を抱きながら、新年を迎えることができました。

愛知県は、今日日本一元気な地域として注目を浴びておりますが、今後も豊かな地域として発展していくためには、将来を見据え、創造的発展を担う人づくりなど、それを維持する力を蓄え、より強固なものとし、さらに高めていかなければなりません。

現在、わが国は、環境、教育、医療、年金問題とはもとより、人口減少・超高齢社会到来への対応など、様々な課題に直面しております。

また、地方分権改革におきましては、地方が主役の国づくりに向けて、活気あふれる地方の創出、真の分権型社会構築に向けての取組や体制づくりが求められております。

こうした中で、本県としては、道州制を視野に入れながら、地方分権改革の一層の進展に向け行財政運営の更なる改善・充実を図っていくことが肝要であります。

私も愛知県議会は、県民の皆様方の厚い信頼に応えるため、直面する諸課題の解決に向けて真摯に議論を尽くすとともに、新しい時代に的確に対応した施策がより効果的に展開されるよう全力を挙げてまいります。

そして、持続可能な活力ある愛知づくりに向けて、常に県民の皆様方の声に耳を傾け、議会の役割と責任を果たすため、誠心誠意努力いたします所存であります。

年頭にあたり、県民の皆様方にとりまして、本年が一層輝かしい年となりますよう念願いたしますとともに、ますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

平成20年元旦

みんなが笑顔に
なりますように。



新春を迎えて



愛知県知事 神田真秋

あけましておめでとうございます。

県民の皆様方におかれましては、希望に満ちた新年をお迎えのことと思います。

いま愛知は、好調な製造業などに支えられ、わが国の産業経済をけん引し、力強い成長を続けております。しかしながら、原油を中心とした原材料価格の高騰やサブプライムローン問題による世界経済の不安定化、国内では少子高齢社会の進展など、様々な課題があります。また、国と地方のあり方を大きく変える地方分権をめぐることは、将来の道州制も視野に置きつつ活発な論議が進められておりますが、国からの本格的な権限や税財源の移譲は未だ道半ばであります。

このような時期であるからこそ、県政の推進に当たっては、まずは足元を固めることが大切であり、県民の皆様方の安心、安全にしっかりと取り組んでまいりたいと考えております。健康や福祉、教育の充実といった県民の皆様共通の願いに、着実に応えてまいりたいと思っております。

このような県民福祉の向上を図るためにも愛知の活力の源となる産業を一層強くする必要があります。愛知の強みである「モノづくり」の基盤強化にしっかりと取り組むことはもちろんのこと、農林水産業の振興にも力を注いでまいります。

さらに愛知万博の成果を継承し、世界に開かれた愛知をめざして、COP10(生物多様性条約第十回締約国会議)やAPEC(アジア・太平洋経済協力)首脳会議などの国際会議の誘致、国際的な芸術祭の企画の具体化などにも取り組んでまいりたいと考えております。

また、県民サービスの向上をめざし、地方機関の見直しを行うとともに、着実に行財政改革の歩みを進めたいと考えておりますので、県民の皆様の一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

本年が、皆様方にとりまして、素晴らしい一年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

平成20年元旦

平成18年度決算の概要について

●一般会計(歳入)2兆3,154億559万4,826円
(歳出)2兆3,091億1,243万9,678円

※翌年度繰越財源を除いた実質収支額は、43億153万9,683円となり、前年度に引き続き黒字決算となりました。

●特別会計(歳入)6,686億1,023万3,130円
(歳出)6,581億9,166万7,560円

詳細は、中央県民生活プラザ(県自治センター)で決算書などを閲覧できるほか、県ホームページ(<http://www.pref.aichi.jp/homu/kofu/>)(県公報第2433号平成19年12月11日発行))でも概要をご覧ください。

■問合せ＝出納課 ☎052(954)6650

お知らせ

■森と緑づくりのための新たな取り組みを検討しています

森林や都市の緑は、自然環境の保全や災害の防止など、私たちの生活に欠かすことのできない公益的機能を持っています。こうした森と緑を守り育て、山から街まで緑豊かな愛知を実現するため、広く県民の皆様にご負担いただく県民税均等割の超過課税を財源とした新たな取り組みを検討しています。皆様のご理解とご協力をお願いします。

▽問合せ「税制」税務課 ☎052(954)6048「事業」森林保全課 ☎052(954)6449、公園緑地課 ☎052(954)6526

行催事・募集

このコーナーに掲載している行催事・募集については県のホームページの「暮らし」募集又は観光レジャーイベント情報で詳しい内容をご覧いただけます。また、お近くの県民生活プラザで案内チラシをお配りしています。

■県政モニター募集

▽仕事「アンケート」への回答(年5回など)▽応募資格「満20歳以上の県内在住者(議員、公務員平成15年度以降の県政モニター経験者を除く)▽募集人員「500人予定」▽謝礼「回答1回につき500円分の図書カード」予定▽申込み問合せ「1月31日(金)までに、郵便番号、住所、氏名、年齢(平成20年4月1日現在)、性別、電話番号、県政モニター経験の有無、アンケートの回答方法(郵送又はEメールから選択)、Eメールアドレス(回答方法が郵送の方は不要)、応募の動機を記入の上、専用の応募用紙又ははがき、FAX、Eメールで、広報広聴課(〒460-8501、住所は不要) ☎052(954)6169、FAX 052(961)4016、Eメール ahocho@pref.aichi.jp」(消印・着信有効)

■道州制セミナーの参加者募集

▽内容「道州制について理解を深めたい」ため、有識者による講演会を開催します。▽日時「①1月22日②2月8日③、いずれも13時30分～16時」▽会場「①豊田産業文化センター小ホール②文化フォーラム春日井 視聴覚ホール▽講師「①戸田敏行氏(社)東三河地域研究センター 常務理事、小西砂千夫氏(関西学院大学教授)②昇秀樹氏(名城大学教授)③稲沢克祐氏(関西学院大学教授)▽参加無料▽定員「①200人②170人」▽申込期限「①1月15日②2月1日」▽申込み・問合せ「会場、住所、氏名、電話番号を記入の上、はがき、電話、FAX又はEメールで、総務課(〒460-8501、住所は不要) ☎052(954)6027、FAX 052(954)6901、Eメール somubu-somu@pref.aichi.jp」(先着順)

■あいち国際芸術祭「シンボジウム」の参加者募集

▽内容「2010年の国際芸術祭の開催をめざし、林望氏(作家)による基調講演「生きる力と

としての芸術」パネルディスカッション、田村響氏によるピアノ演奏を行います。▽日時「1月20日⑬時30分」▽会場「中電ホール(名古屋市中区)▽申込み「1月11日(金)までに、住所、氏名、電話番号を記入の上、はがき、FAX又はEメールで国際芸術祭構想検討調査業務共同事務局(〒460-0003、名古屋市中区錦1-19-24名古屋第一ビル8階、FAX 052(222)3760、Eメール arts@arap-cdc.co.jp)へ(必着多数の場合は抽選)▽問合せ「文化芸術課 ☎052(954)6184 ホームページ <http://www.arap-cdc.co.jp/gaiyutsumu/index.htm>

■あいち環境絵本まつりの開催

▽内容「環境の大切さについて考えていただくため、海野和男氏自然写真家による講演「地球のことは虫に聞け」さがしてムシハカセ」環境をテーマに全国から募集した環境絵本の入選作品の展示・読み聞かせ、絵本劇や絵本にちなんだワークショップなどを行います。▽日時「1月19日④10時～16時」講演は13時30分開演▽会場「レイヤン(春日井市井市)▽入場無料▽定員 講演「400人」▽申込み・先着順▽問合せ「環境活動推進課 ☎052(954)6208

■ごみゼロ社会推進あいち県民大会の参加者募集

▽内容「なぜレジ袋を削減するのか」をテーマに、講演やパネルディスカッションなどを開催します。▽日時「2月8日⑤13時30分～16時30分」▽会場「テレビアール(名古屋市中区)▽参加無料▽定員「450人」▽申込み・問合せ「1月25日(金)までに、住所、氏名、年齢、性別、電話番号を記入の上、はがき、FAX又はEメールで」ごみゼロ社会推進あいち県民大会事務局(資源循環推進課)内(〒460-8501、住所は不要) ☎052(954)6234、FAX 052(953)7776、Eメール junkan@pref.aichi.jp」(先着順)

■県民意見募集

■愛知県動物愛護管理推進計画(案)への意見募集

▽内容「本県における動物の愛護及び管理に関する施策を推進するため、愛知県動物愛護管理推進計画」を策定します。このたび、その案がまとまりました。県民の皆様のご意見を募集いたします。▽募集期間「1月29日(木)まで(必ず)資料の閲覧」生活衛生課、各県民生活プラザなど(県のホームページでも閲覧できます)。

▽提出・問合せ「郵送、FAX又はEメールで、生活衛生課(〒460-8501、住所は不要) ☎052(954)6298、FAX 052(954)6921、Eメール cisei@pref.aichi.jp」

■県民生活「Q&A」

家や建物を建てようと思いますが、耐震偽装などの事件の後、手続きが変わったと聞きました。建物の安全を確保するため、建築基準法が改正され、審査を厳格に行うことになりましたので、主に次の点に注意してください。

①建築確認申請に必要な図書や記載事項が大幅に増え、審査に時間がかかるようになります。たの、余裕をもつて申請してください。

②申請した内容は、軽微なもの以外は所定の手続を行わなければならない限り変更できなくなり、変更部分は手続きが終わるまで工事を進めることはできません。そのため、事前に設計者と綿密な打合せを行うことが大切です。

▽問合せ「建築指導課 ☎052(954)9586」▽ホームページ <http://www.pref.aichi.jp/kenchikushido/>

県議会だより

12月定例会から

平成19年12月定例愛知県議会は、12月3日に開会、18日間の会期を経て12月20日に閉会しました。その概要をお知らせします。

議案等

知事から平成19年度12月一般会計補正予算案を始め19件の議案が提出されました。これらの議案は、提案理由の説明を経て、本会議の審議、委員会の審査(早期議決を要する1件の議案は委員会付託省略)が行われ、すべて可決または同意されました。

また、委員会提出議案として「愛知県議会の議員の選挙区の特例に関する条例の一部改正について」が提出され、原案どおり可決されました。

なお、閉会中に継続審査されていた平成18年度一般会計及び特別会計決算13件、並びに公営企業会計決算5件についてもすべて認定されました。

代表質問

12月5日、次の3人の議員が県政各般にわたる問題について、それぞれの会派を代表して質問を行いました。

◆自由民主党 鈴木 孝昌

- 財政問題
- 持続可能な循環型社会づくり
- 世界をリードする産業中核づくり
- 安心できる健康・福祉社会づくり
- 教育問題
- 安全で災害に強いまちづくり

◆民主党 高橋 正子

- 法人二税の偏在は正問題
- 非自然死体の死因究明制度
- 「全国学力テスト」の結果をうけての今後の課題と取組み
- 医療に対する安心・信頼の確保対策
- 国際観光の推進
- 交通安全・安心
- 交通事故死者数全国ワースト1返上への取組み
- 建築確認申請
- 農業政策、魅力ある農業

◆公明党 木藤 俊郎

- あいちの教育に関するアクションプラン
- 法人二税の偏在は正問題
- 新しい産業の創造
- 知事のマニフェストの進捗状況
- 国際観光の推進
- 医療対策
- 犯罪抑止対策
- 農業政策、魅力ある農業

一般質問

12月6日、7日の2日間にわたり一般質問が行われ、次の14人の議員が県政の課題について質問しました。

- 神戸洋美(自民)○食品リサイクルほか
- 浜崎利生(民主)○地震防災対策及び広域防災拠点の整備ほか
- 原 欣伸(自民)○産業立地の推進ほか
- 渡会克明(公明)○地域振興対策ほか
- 小山たすく(民主)○雇用促進住宅の全廃方針に伴う支援措置ほか
- 山下史守朗(自民)○航空宇宙産業の振興ほか
- 仲 敬助(民主)○地域医療体制ほか
- 川嶋太郎(自民)○年長フリーター対策ほか
- 伊藤勝人(自民)○道路行政ほか
- 渡辺ましろ(民主)○食の安心・安全ほか
- 川本明良(自民)○重粒子線治療施設ほか
- 長江正成(民主)○愛知県立窯業高等技術専門学校ほか

- 浅井喜代治(自民)○社会資本の整備と関連零細事業者の地域内格差
- 渡辺 昇(自民)○名古屋高速道路ほか

委員会審査

本会議で審査された後、委員会に付託された議案は、12月11日から14日までの4日間にわたって開催された各常任委員会において慎重に審査されました。

請願

県民の方々から、「平成20年度愛知県私学振興予算の充実」について始め3件の請願が提出され、総務県民委員会が審査した後、本会議で審議の結果、すべて採択されました。

意見書

議会的意思を国政に反映させるため、次の8件の意見書が可決され、衆参両院議長及び内閣総理大臣始め関係大臣等に提出されました。

- 地方法人二税の見直し反対について

- 地方議会議員の位置付けの明確化について
- 創設憲法の早期改正について
- 安定的な雇用の確保について
- メディカルコントロール体制の充実について
- BSE全頭検査の継続について
- ウイルス型肝炎対策の推進について
- 裁判員制度の円滑な実施について

お知らせ

●平成20年2月定例愛知県議会
次の県議会は2月19日から開かれる予定です。

●インターネット中継

ブロードバンド対応の本会議中継や、おむね過去1年分の録画中継を行っており、大画面で高画質の映像を提供しております。

愛知県議会事務局

☎(052)954-6742(ダイヤルイン)

ホームページアドレス

<http://www.pref.aichi.jp/gikai/>